

党創立104周年 記念講演会レジュメ

歴史の岐路 希望の明日を切り開く生き方を

2026年7月18日 幹部会委員長 田村智子

1、国連憲章をめぐる岐路——平和の国際秩序をつくる道か、形骸化を許すのか

無法な戦争によって、国連憲章にもとづく秩序が揺らいでいる

米トランプ政権の国際的孤立——イラン戦争、NPT再検討会議

米国内で古い政治を揺るがす変革の動き——DSAとの出会い

日米同盟絶対の「思考停止」でいいのか——日本の進路が問われている

2、日本国憲法をめぐる岐路——公布80年、憲法の力を発揮するのか、根本から覆す逆流を許すのか

戦後、最も危険な政治に、私たちは直面している

新しい市民の運動の広がりは大きな希望——連帯して断固たたかう

「戦争はいや」から出発し、平和の道を探求する、学習と対話の国民的な大運動を

「軍事的抑止力強化」では平和はつくれない、それは戦争への道

「安心」を与える外交でこそ平和はつくれる——「東アジア平和提言」の呼びかけ

中国との関係——「外交を壊しての軍事一辺倒」では舵取りの資格なし

歴史の岐路で、声をあげ行動しよう。日本共産党とともに進もう

3、大企業中心の政治が行き詰まるもと、無謀で危険な道を許していいのか——「富の一極集中」に切り込み、暮らしを豊かに

「物価高騰、暮らしの危機打開へ——経済政策を転換する緊急要求」の実現を

前代未聞の大企業へのバラマキ——すでに失敗した道を速度をあげて暴走

高市政権の「防衛と経済の好循環」論——日本を「落ちぶれた国」にしてはならない

「骨太ショック」——高市「成長戦略」と「軍事経済化」に市場からも「赤信号」

日本共産党の経済政策——「富の一極集中」に切り込み、暮らしを豊かに

4、「資本主義というシステムをこのまま続けて良いのか」——「人間の自由」が豊かに花開く未来社会への展望をもつ生き方を

世界資本主義の深刻な矛盾の深まり——貧富の格差の拡大、気候危機の深刻化

「人間の自由」「人間の自由で全面的な発展」を軸にすえた未来社会論の探究

すべての人の存在と成長を肯定し、励ます、生きる希望になる解明

世界にも共感を広げる生命力——現代の熱い問題を解決する手がかりにも

未来社会への希望を広げるとともに、現実の社会を変えるたたかいの力に

むすび——日本共産党への入党を訴えます

以上



記念講演会の感想記入用フォーム
<https://ptv.jcp.or.jp/survey/972857?lang=ja>